

氏名	東原 亜希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	助産学・代替医療				
学位	博士(看護学)				
学歴	聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	戸田中央産院、愛和病院、聖路加産科クリニックにて助産師として勤務。埼玉県立大学非常勤助手。秋草学園短期大学非常勤講師。青年海外協力隊(モルディブ共和国)、2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会(役職)	日本助産学会、日本母性衛生学会、日本看護科学学会、日本ヒューマンケア・心理学会、日本母性看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	分娩介助実習前の学生の気づきを促すための模擬産婦に対するフィードバック研修の試み	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、8、75-82	森美紀、鈴木幸子、石井邦子、山本英子、青柳優子、北川良子、川城由紀子、東原亜希子、植竹貴子	2018.3
(3) 学会発表					
1	分娩介助実習における模擬産婦による双方向性フィードバックが学生の気づきを促す効果	共著	第20回日本母性看護学会学術集会、越谷市	森美紀、鈴木幸子、石井邦子、青柳優子、山本英子、北川良子、川城由紀子、東原亜希子、植竹貴子、妻倉恵	2018.6
2	骨盤位の妊婦が実施する棒灸の胎動への影響	共著	第59回日本母性衛生学会学術集会、新潟市	○東原亜希子、堀内成子	2018.10
3	骨盤位の妊婦が実施する灸(有煙・無煙)の頭位変換への影響～実行可能性の検討～	共著	第38回日本看護科学学会学術集会、松山市	○東原亜希子、堀内成子	2018.12
4	女子大学生を対象とした無煙棒灸による熱刺激量測定の実行可能性の検討	共著	第33回日本助産学会、福岡市	○東原亜希子、堀内成子	2019.3
(4) その他					
1	【習慣化されたケアをエビデンスから検証する】骨盤位を治すのに、お灸は効果があるの?(特集)	単著	助産雑誌、72(12)、934-935	東原亜希子	2018.12
2	【習慣化されたケアをエビデンスから検証する】ベビーマッサージの効果は?(特集)	単著	助産雑誌、72(12)、966-968	東原亜希子	2018.12
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(研究活動スタート支援)	妊婦が行う無煙棒灸の灸実施前中後の熱刺激量と体温の継時的変化(研究代表者)		2017.4～2019.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	妊婦のアドヒアランスを促進する冷え症改善支援モデルの開発、研究代表中村幸代、リサーチアシスタント		2016.4～2020.3	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	該当なし				

(2) 演習			
1	周産期のケア	2018.10～2019.3	3年次助産系履修学生を対象に、胎児心拍数陣痛図モニタリング管理の演習を行った。学生の自己課題が明確になり、総合実習や助産実習で活かせるよう、イメージしやすいように工夫した。また、集団指導実践に伴い、指導案作成から助言をし、グループ内での自分の役割や能力についても客観的に考えられるようグループダイナミクスの視点に考慮し工夫した。
2	分娩期のケア	2017.4～7	4年次助産系履修学生を対象に、学生自らが毎回フィードバックができるよう、個別性を重視しサポートした。
3	母性看護学Ⅲ	2017.10～2018.3	2年次生を対象に、新生児の抱き方、進行性変化(乳房乳頭の観察、授乳への援助法)について、ロールプレイを用いた演習を計画し、資料作成をした。
(3) 実習			
1	母性看護学実習Ⅰ	2017.5～7	3年次生を対象に、6週間の産科病棟実習指導を行った。受け持ち事例を通し対象を理解し、学生一人一人が看護過程を展開し評価できるように導いた。
2	総合実習	2017.7	4年次助産系履修学生4名を対象に、産科外来・病棟実習指導を行った。妊娠期から出産、産後と継続ケアの重要性と退院後を見据えたケアが行えるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ	2017.8～10	4年次助産系履修学生3名を対象に、8週間の分娩介助実習指導を行った。個別性を重視した助産診断、家族を含めたケアが実施できるよう指導した結果全員が目標を達成することができた。
(4) 論文指導			
1	該当なし		
(5) その他			
1	第20回日本母性看護学会学術集会	2018.6	学会の企画・実行委員および査読者として学会運営に協力した。
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第9回学術集会	2018.10	学会の実行委員として学会運営に協力した。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	妊婦・母子の運動指導(マタニティビクス・アフタービクス講師)	学校法人聖路加国際大学(聖路加助産院マタニティケアホーム)	マタニティビクス・アフタービクスクラスの企画運営 2017.4～現在
2	小学6年生を対象とした海外経験の講義	公益財団法人埼玉県国際交流協会 「世界へのトビラ」～グローバル人材育成の基盤づくり事業～	テーマ:「本当のモルディブ～世界を知って日本を考えよう～」 寄居町立鉢形小学校6年生の総合的な学習の時間 2018.11
3	埼玉県青少年夢のかけはし事業	埼玉県青少年課	「看護師をめざそう!」埼玉県立大学で看護師体験 2018.11
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	日本母性看護学会	第20回日本母性看護学会学術集会運営委員	2019.3～6
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	実習計画調整会		
2	埼玉県立大学保健医療福祉学学会委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
公益財団法人 埼玉県国際交流協会 日本人講師			